

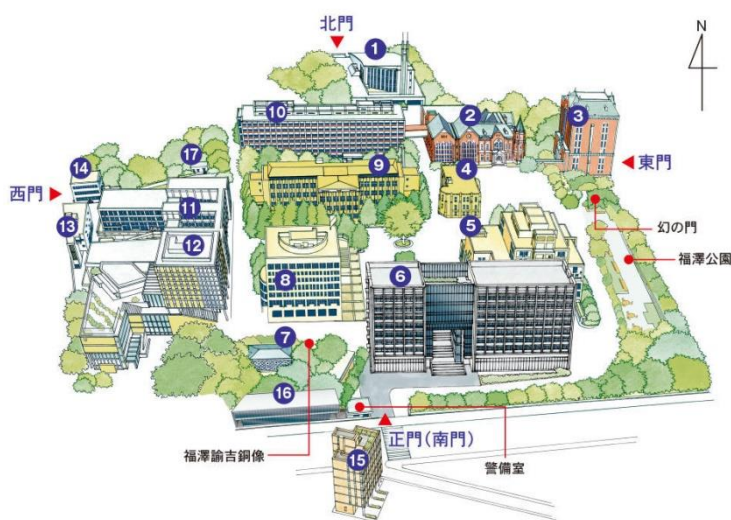
日本人とオーボエ、その歴史が語るもの

講師：成澤良一（日本オーボエ協会常任理事・資料調査局長）

日時：2018年2月25日（日）

14：00 開演（13：30 開場）

会場：慶應義塾三田キャンパス 523A 教室（西校舎 2F）



西校舎はマップの⑪です。

なお当日は、休日のため正門以外からの出入りは出来ませんのでご注意ください。

料金：入場無料※要申し込み

入場ご希望の方は、2月20日（火）までにメールにて
[音楽三田会 info.ongakumitakai@gmail.com](mailto:info.ongakumitakai@gmail.com) までお申し込みください。

会員以外の方も参加できますので、奮ってご応募ください。

なお定員になり次第、締め切りとなりますのでご注意ください。

【講師紹介】成澤良一（日本オーボエ協会常任理事・資料調査局長）



1971年慶應義塾大学経済学部卒。在学中はワグネル・ソサイエティー・オーケストラにてオーボエを担当。アマチュアとして演奏を続ける傍ら、雑誌執筆、CD解説、演奏家インタビューなども手掛ける。国際ダブルリード協会(IDRS)世界大会その他、講演も多数。現在、日本オーボエ協会常任理事・資料調査局長。近著に『オーボエが日本にやってきた！——幕末から現代へ、管楽器の現場から見える西洋音楽受容史——』（デザインエッグ社）。

主催・問い合わせ：[音楽三田会 info.ongakumitakai@gmail.com](mailto:info.ongakumitakai@gmail.com)

後援：日本オーボエ協会 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ三田会